



手のひら通信

十二月二十四日〜二十

五日、手のひらに太陽の家のみなさんは、白銀の世界へ旅に出ました！くりこま高原自然学校へと、みんなでホワイトクリスマスキャンプです！

自然学校はもうすでに真っ白な粉雪が腰近くまで積もっており、それでもまだまだ降り止みません。そんな雪に喜ぶのは手のひらからの二十名以上の子どもと元子ども達！到着後の始めの会が終わるや否や、雪の世界へと飛び出しました。キャンプ初日からスキーウェアがビシヨビシヨになるまで思いっきり遊ぶ子ども達。大人達はそんな子ども達を微笑みながら見守っています。

誰も遊ばずにはいら

れない、楽しい空気がいっぱい溢れる。そしてクリスマスといえぱパーティー！美味しいデザート、インナーの後は、楽しいパーティーの始まり。手のひらの利用者さんもスタッフも、みんなが出し物をしたり歌を歌ったり、戦ったり(?)して心から楽しめました。クリスマスが誕生日のスタッフへサプライズもありました。夜にはサンタさんが子ども達の枕元へプレゼント配りに来てくれたようですよ。

そんな一日目も過ぎ、二日目には全員で雪上運動会！これには元子ども達も本気で楽しみました。普通の運動会とはまた違った楽しさのある雪上運動会。ただ歩くので

も一苦労。チームワークを発

揮して、勝つても負けても、楽しかったね。午後は、それぞれ自由に過ごしました。ゆつくり過ごす大人、外で遊ぶ子ども達、家の中で暖かくママと楽しむ小さい子達。スノーシューハイキングに出かけた大人達もいました。

：と、本当に盛り沢山に楽しんだキャンプ。みんなの笑顔がとても印象的でした。もっと居たかったね。また会おうね。

(文・佐藤)



お問い合わせ
手のひらに太陽の家
 宮城県登米市登米町寺池辺
 室山17番地1
 0220-23-9755(Tel)
 0220-23-9756(Fax)
 info@taiyounoie.org
 http://taiyounoie.org/

小さな旅 手のひらに太陽の家から、こんにちは ～利用者の方々より～

移住したくても
そうできず、毎日
子ども達の健康状
態が心配で仕方な
く過ごしている
中、手のひらに太
陽の家に来る度、
“子ども達を守れ

ている”と実感します。放射
線量の低い所での保養はこ
れから先ずっと続いていく
と思います。また利用させて
頂きたいと思っています。で
すから「手のひらに太陽の
家」続けて欲しいです。

(福島県郡山市三十七歳)

入ったらすぐに木のぬく
もりのとても素敵なお家に
癒されました。見知らぬ地へ
足を運び、短い間でしたがわ
くわくそして寒空の公園遊
びで少し伸び伸びできた子
ども達でした。出会いの中か
ら新たに私自身、考えて前進
するきっかけをまた頂いた
気がいたします。ありがと
うございました。

(福島県郡山市四十一歳)

一月五日はお隣、栗原市
にある花山青少年自然の
家でかんじき体験を行
いました。ご指導下さったの
は山の専門家、花山山岳会
の方々。子ども達はひざま
である雪の中をだるまの
ように転がりながら遊ん
だ跡をいっぱい残してい
きました。少し森の近くを
探検すると、ここにもま
た、小さな小さな子が
遊んだ跡。ウサギさんでし
た。その近くにはキツネら
しき足跡が！？もしかし
たら、壮絶な命の戦いが有
ったのかも知れませんね。

発見した男の子は「こー
ん！こーん！」と叫びなが
ら、キツネが現れるのをず
っと待っていました。雪上
の自然の魅力を堪能した
一日でした。花山山岳会の
皆様、本当にありがとうございました。(文・菅邊)



一月六日(元) 日本野鳥の
会に在籍していた丸谷聡氏
が手のひらに在所して下さ
り、渡り鳥たちの時伊豆沼へ
と同行してくださいました。
暗闇が残る朝六時半、伊豆
沼に生息する鳥たちは眠り
から覚めていない様子。東の
空に後光の様な朝日が大き
く向かってとき放された時、
微かな羽根音がした瞬間一
つの鷹の群れが飛び立ちま
した。空を埋め尽くすばかり
に飛び立つ光景は長い距離
を渡って来た渡り鳥たちの
勇壮な姿でした。時の合間を
見て鷹の群れたちは次々飛
び立ちました。

丸谷氏はそんな鳥たちの
習性や、生態について詳しく
説明して下さい、昆虫にも詳
しく野鳥観察の後に行った
「サンクチュアリーセンタ
ー昆虫館」では、丸谷氏の話
に大人も子どもも釘付けで、
聞き入っていました。「早起
きは三文の徳」と言われます
が、私達もなんだかとても得
した幸せな時間を頂きました。

(文・高橋)

2月の予定

2月の誕生花は「梅（うめ）」

英名は jpaneseapricot。日本の杏（あんず）という意味です。花言葉には「気高い心・高潔・忠義など」があります。梅が咲くのが待ち遠しいですね。

日程	イベント	詳細
4日 10時～13時	恵方巻き作り	皆で恵方巻きを食べて、厄払いをします。教えて下さるのは管理栄養士の遠藤美香さんです。
10日 1日中	森のようちえん	今回で5回目。くりこま高原自然学校の方がスタッフとして来て下さいます。
15日 10時～13時	スペイン料理教室	イタリアに在住していた方が料理教室を開いてくれます。教えて下さるのはスペイン風オムレツです。

※ イベントへの参加ご希望・参加費につきましては「手のひらに太陽の家」へお問い合わせ下さい。

☎0220-23-9755

※本事業は赤い羽根「災害ボランティア・NPOサポート募金」の助成を受けて実施しています。

～とよま北上川かっぱの会～

手のひらに太陽の家の近くには東北地方最大の河川「北上川」が流れています。そんな北上川をこよなく愛する地元の人たちが集まってできたのが「とよま北上川かっぱの会」です。

メンバーは、昔に比べ、人の関わりが無くなり自然環境が大きく変化したという北上川を、昔のように子ども達が遊べるような環境に戻したいという熱い思いを持った方々ばかり。自然の中で遊ぶことが大好きで、その楽しさを子ども達に伝えています。

多くの太陽の家のイベントにボランティアとしてご協力をいただいています。そのおかげで、川遊び・キャンプ・クルージングなど利用者の方々は体いっぱいの自然の中で遊ぶことができています。本当にありがとうございます。

日頃のご支援ご協力、誠にありがとうございます。

支援団体の紹介



手のひらに太陽の家基金 ～ご支援のお願い～

手のひらに太陽の家では東日本大震災により生活が困難になってしまった家族、特に放射線量の高い地域での生活を強いられている子どもたちを支援します。今も自然の中で存分に遊ぶことも出来ず、心身に大きなストレスを抱えている子どもたちがたくさんいるのが現実です。

7月21日の開所から、のべ75組238名のご家族に手のひらに太陽の家をご利用いただきました。(平成24年12月31日) 今後、継続して活動を行っていくためには、皆様のご支援が必要です。1人でも多くの子どもたちを笑顔にするために、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【銀行名】 七十七銀行(シチジュウシチギンコウ) 築館(ツキダテ)支店 店コード700

【口座番号】 普通預金 5411882

【口座名義】 手のひらに太陽の家太陽の家基金
理事長 佐々木豊志(ササキトヨシ)

手のひらに太陽の家公式サイトよりクレジットカードでご寄付いただける【オンライン寄付】や、毎月継続してご支援いただける【メンバーサポーター】もあります。

詳しくはHPまで*「手のひらに太陽の家」で検索!